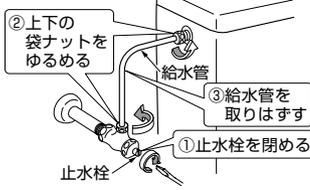


取付方法

1 分岐金具の接続

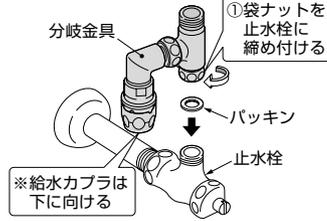
一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

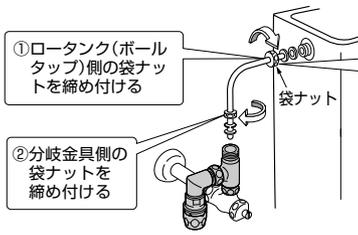


※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

2 分岐金具を止水栓に取り付ける

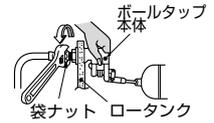


4 給水管を取り付ける

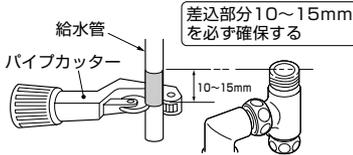


注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

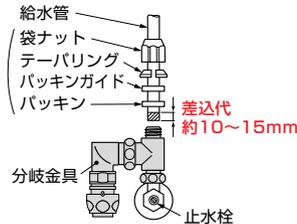


3 給水管の止水栓側を切断する

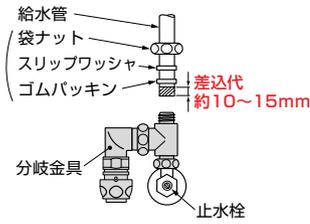


- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合



接続部にテーパリングを使用していない場合



• 部品の順番、向きを間違えないでください。

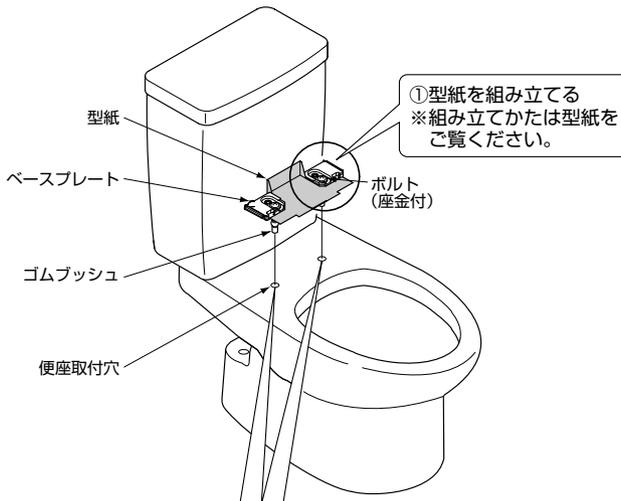
2 ベースプレートの取り付けかた

- 注意**
- すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
 - ※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

1 ベースプレートをセットする

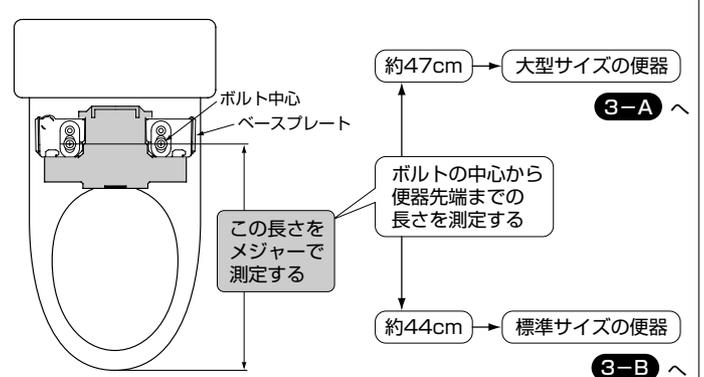
- ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

注意
ベースプレート部品を分解しないでください。



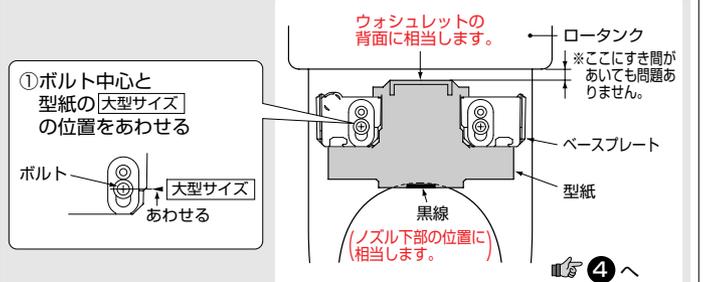
- ② ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所)
• ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

2 便器のサイズを調べる



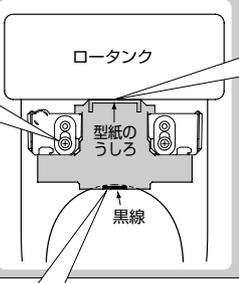
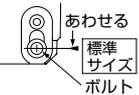
3 ベースプレートの位置を決める

3-A 大型サイズ便器の場合



3-B 標準サイズ便器の場合

① ボルト中心と型紙の標準サイズの位置をあわせる



② A、Bの条件を確認する

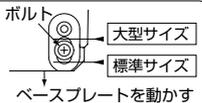
- A: ロータンクと型紙のうしろにすき間があること
- : すき間あり (2mm以上が望ましい)
 - ×: すき間なし (すき間がないとウォシュレットの取り付けができません。)

B: 型紙の黒線が便器ふちより前に出ているか、または一致していること



③ A、Bの条件が両方○の場合 4へ

A、Bの条件が片方でも×の場合は右図のようにベースプレートを動かしてA、Bの条件が両方○になるようにしてください。調整後 4へ



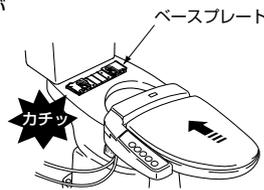
5 型紙をはすす



3 ウォシュレットの取り付けかた

① ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

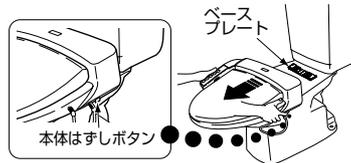
- 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



注意 正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

本体の取りはずしかた

- 本体右側の本体はずしボタンを押したまま、本体を手前に引いてください。



※ 本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)

※ 標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※ 便ふたが倒れてくるときは、本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して便ふたが自立するように調整してください。

※ 大型サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

4 ベースプレートを固定する

① 合わせた位置がずれないように、手でベースプレートをしっかり押さえる



② ④ドライバーでボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける

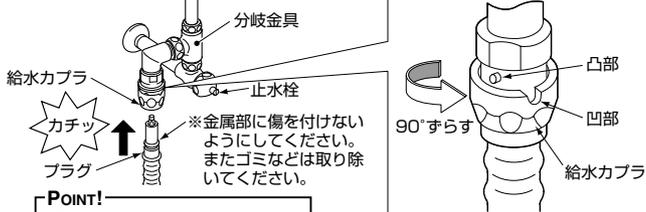
ベースプレートが便器にあたるまで締め付ける

4 連結ホースの接続

① ウォシュレット本体の給水口に連結ホースの袋ナットを締め付ける

※ この状態のまま製品を床に置かないでください。連結ホースが折れ、水漏れの原因になります。

② 連結ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む (給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

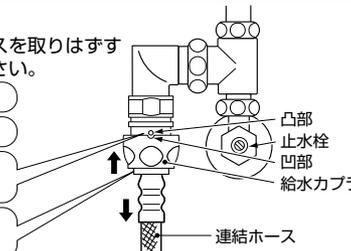


POINT! 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

連結ホースのはずしかた

施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を閉める
- 2 ロータンクの水を流す
- 3 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- 4 給水カブラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く



③ 連結ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

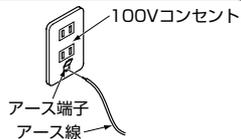
※ 連結ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の連結ホースの長さは970mmです。) お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

連結ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZSt5
1480	D24009ZSt6
1980	D24009ZSt7

※ 連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

5 アース線の接続

- アース線をアース端子に接続してください。
- ※ アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



6 漏電保護プラグの確認

① 漏電保護プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

② 漏電保護プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

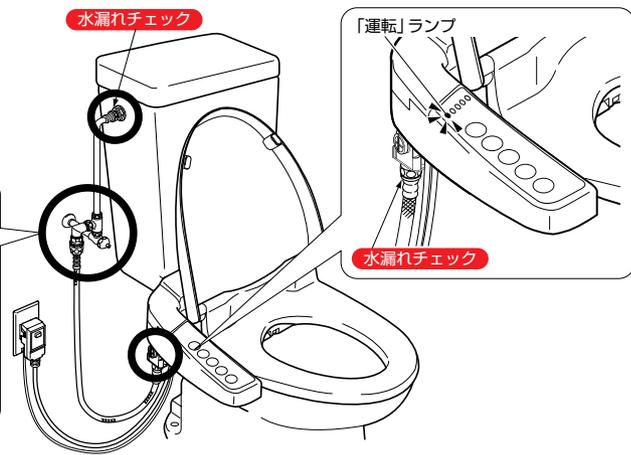
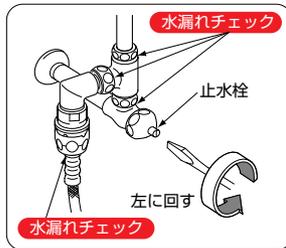
- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では、通電されません。テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

試 運 転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが、「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは、操作部の「運転」ランプが点灯します。）
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、漏電保護プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

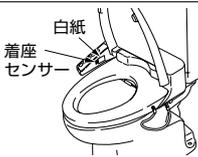
- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
 - 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



2 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。



2 脱臭機能を確認する (SA・SBのみ)

- 操作部側面下部の吹出口より風が出ていますか？

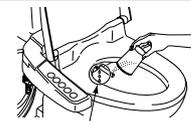


3 パワー脱臭機能を確認する (SA・SBのみ)

- 「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと通常の音に戻りますか？

4 洗浄機能を確認する

- 「おしり洗浄」スイッチを押すとノズルから温水が出ますか？（温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。）
- 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？



洗浄時ノズルの根元からも水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。

5 乾燥機能を確認する (SA・SCのみ)

- 「乾燥」スイッチを押すと温風が出ますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？

6 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

7 着座センサーを30秒以上検知させて、白紙をはずす

8 オートパワー脱臭機能を確認する (SA・SBのみ)

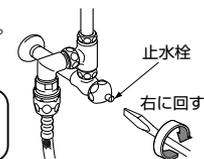
- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動で止まりますか？

給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。（フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。）

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。（給水管内の圧抜きです。）



注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない（水が噴き出します。）

2 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

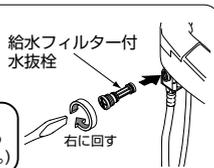


3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ 本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める



注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める（確実に締めないと水漏れの原因になります。）

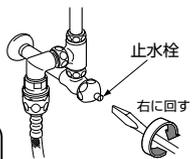
5 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏電保護プラグは差し込んだままにしてください。漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。

1 止水栓を開けて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。



注意

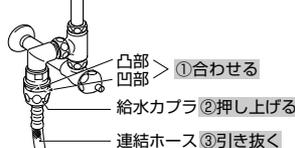
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない（水が噴き出します。）

3 本体を取りはずす



2 配管の水を抜く

- ① 補助操作部の「ノズルほうじ (入切)」を押す（製品内の残水を抜きます。）
- ② 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす（給水フィルターの掃除 ②項参照）
- ③ 連結ホースを給水カブラからはずし、先端を容器で受ける



- ④ もう一度「ノズルほうじ (入切)」を押す（ノズルを元に戻します。）

4 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体内の水を抜く

- 本体をはずさないで水抜きレバーは引けません。
- 本体下側から水（約1.2L）が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

5 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を戻し、本体を取り付ける

6 連結ホースを給水カブラに差しこむ（「カチッ」と音がします。）（④連結ホースの接続 ②項参照）

7 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- ① 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める



注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める（確実に締めないと、水漏れの原因になります。）

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、漏電保護プラグを抜いておいてください。（但し凍結が予想される場合は、漏電保護プラグを抜かないでください。）